

これまで復活した旧町名一覧

(令和3年11月1日現在)

旧 町 名	復活日	復活前の 住居表示	由 来	面 積	世帯数 (復活時)
主 計 町 (かずえまち)	H11.10.1 (H16.5.1 区域拡大)	尾張町2丁目の一部	加賀藩士、富田主計の邸地があったところなので、この名がついたという	0. 88ha (区域拡大 0. 14ha)	約30世帯 (区域拡大 1世帯)
下 石 引 町 (しもしびきまち)	H12.4.1	石引3丁目の一部	藩政の初め、金沢城の石垣を築くため、戸室山から切り出した戸室石を引いて運んだ道筋であったので、この名がついたという	3. 2ha	国立病院
飛 梅 町 (とびうめちょう)	H12.4.1	石引3丁目の一部	前田対馬守長種にはじまる藩の老臣一万八千石・前田氏の下屋敷(家中町)があったところで、同家の家紋「角の内梅輪」にちなみ、明治2年この名がつけられた	5. 2ha	約30世帯
木 倉 町 (きぐらまち)	H15.8.1	片町2丁目の一部	藩政の初めころ、藩の材木倉があったので、この名がついた	1. 17ha	約160世帯
柿 木 畠 (かきのきばたけ)	H15.10.1	広坂1丁目の一部	この一帯を火除地とするため、藩士の邸宅を移転させ、空き地にし、柿の木を植えた。その後、再び藩士の邸宅となったが、地名として残った	2. 36ha	約70世帯
六 枚 町 (ろくまいまち)	H16.6.1	芳斉2丁目の一部	この町の宅地税である「地子銀」が年間6枚であったことから、この名がついたと伝えられている	0. 5ha	約60世帯
並 木 町 (なみきまち)	H17.10.1	橋場町の一部	藩政時代、浅野川の護岸のために川沿いに植えられた松並木にちなんで、この名がついた	2. 5ha	約140世帯
袋 町 (ふくろまち)	H19.3.1	安江町および尾張町2丁目の各一部	町筋である北国街道の両端が曲り、まるで袋のようであったところから、この名がついたという	1. 64ha	約30世帯
南 町 (みなみちょう)	H20.11.1	香林坊1丁目・2丁目、高岡町および尾山町の各一部	佐久間盛政が城主のころ、城の南にあったので、この名がついた。文禄元年(1592年)、現在の地に移転したが、寛永十二年(1635年)の移転説もある	3. 94ha	約13世帯

旧 町 名	復活日	復活前の 住居表示	由 来	面 積	世帯数 (復活時)
下 新 町 (しもしんちょう)	H21.11.1	尾張町2丁目の一部	藩政初期からの町名で、尾張町に家屋が増え、町地が狭くなったので、新しく町立てされたため、新町の名がついた。明治4年、上・下の2町に分町した	1. 70ha	約28世帯
上 堤 町 (かみつつみちょう)	H21.11.1	高岡町および 尾山町の各一部	藩政期以前にできた寺内町の一つで、掘り上げた土の堤上に町地ができたことから、この名前がついた。寛永十二年の火災を機に西内総構堀の中からこの地に移された	1. 74ha	約14世帯
金石通町 (かないわとおりまち)	H30.11.1	金石西3丁目 および4丁目の各一部	町全体の中心的役割を担う町人や商人が、多く居住していた「本町」へ行くため、多くの人が往来したことから付けられた	1. 5ha	約31世帯
金石下本町 (かないわしもほんまち)	H30.11.1	金石西3丁目 および4丁目の各一部	「本町」の下に連なる町筋であったことから付けられた	1. 5ha	約29世帯
金石味噌屋町 (かないわみそやちょう)	H30.11.1	金石西2丁目 および4丁目の各一部	重要な調味料であった「味噌」を商う有力な商人が居住したと推測される	2. 2ha	約43世帯
観音町1丁目 (かんのんまちいっちょうめ)	R1.5.1	東山1丁目の一部	元和2年に、三代藩主前田利常夫人の発願により、現在地に「卯辰山観音院」が造営されたことに由来し、後、浅野川大橋詰広見から観音坂下まで、幅3間の直道に改修され、観音町の名が定まったといわれている	0. 8ha	約36世帯
観音町2丁目 (かんのんまちにちょうめ)	R1.5.1	東山1丁目の一部		0. 5ha	約27世帯
観音町3丁目 (かんのんまちさんちょうめ)	R1.5.1	東山1丁目の一部		2. 4ha	約33世帯
金石新町 (かないわしんちょう)	R1.11.1	金石西2丁目の一部	藩政時代に人口や家が増えて、町の中心から、新しく町建てされたことにより「新町」と、さらに、新しく町建てされたことにより「今町」と付けられた	1. 3ha	約25世帯
金石今町 (かないわいままち)	R1.11.1	金石西2丁目の一部		1. 6ha	約26世帯

旧 町 名	復活日	復活前の 住居表示	由 来	面 積	世帯数 (復活時)
金石海禅寺町 (かないわ かいぜんじまち)	R1.11.1	金石西1丁目 および2丁目 の各一部	藩政期に「海禅寺」があったことから、付けられた	1. 6ha	約37世帯
金石下寺町 (かないわしもでらまち)	R2.11.1	金石西3丁目 の一部	藩政時代、町の東方に大寺があったので、その辺りは「寺町」と呼ばれ、後に、「上」、「下」に分かれた	1. 2ha	約19世帯
金石上浜町 (かないわかみはままち)	R2.11.1	金石西4丁目 の一部	「浜町」の上方(かみがた)方向に連なる町筋が由来である推測される	1. 1ha	約18世帯
金石浜町 (かないわはままち)	R2.11.1	金石西4丁目 の一部	御塩蔵の浜方(海方)に連なる町筋が由来であると推測される	0. 8ha	約16世帯
金石松前町 (かないわまつまえまち)	R2.11.1	金石西2丁目 および4丁目 の各一部	北前船により、北海道松前地方を取引、交流先とする人達が、多く住んでいたことが由来であると推測される	1. 7ha	約31世帯
金石御船町 (かないわおふねまち)	R2.11.1	金石北1丁目 の一部	藩政時代、藩の御座船等の御船小屋があり、御船足軽達が住んでいたことが由来であると推測される	1. 8ha	約53世帯
金石上越前町 (かないわ かみえちぜんまち)	R3.11.1	金石西4丁目、金石北1丁目及び2丁目の各一部	江戸時代に福井と取引をしていた人たちが住んでいた。以前は越前町と呼ばれ、日本の地図を作った伊能忠敬もこの町に一泊しており、上越前町は出町と呼ばれていた	1. 3ha	約30世帯
金石相生町 (かないわ あいおいちょう)	R3.11.1	金石北3丁目 の一部	慶応2年(1866年)大野と宮越とが合併したときにできた町で、芝居小屋、茶屋などが建ち、昭和に入ってから湊々園ができ、賑わった町であった	2. 2ha	約73世帯

旧町名とは…

昭和38年以降の住居表示の実施に伴い、藩政期に由来する由緒ある小さな町が、範囲の大きな町に整理・統合されました。この変更された町の名前を「旧町名」といいます。

旧町名復活の目的は…

旧町名は、その土地の歴史を刻み、人々の営みや、情景を映すかけがえのない貴重な歴史的文化的資産です。旧町名やその町の歴史を学び知ることによって、私たちの町と郷土への誇り、そして、愛着を新たなものとし、住民同士の交流とまちづくりに活かしていくことは、よりよいコミュニティを推進していくうえで重要であると考え、金沢市は旧町名復活を推進しています。

❖ これまでに復活した旧町名（令和4年3月現在）

中心市街地



1 主計町（かずえまち）



- 復活日／平成 11 年 10 月 1 日
（平成 16 年 5 月 1 日区域拡大）
- 面積／0.88ha（区域拡大 0.14ha）
- 復活前の町名／尾張町 2 丁目の一部

■由来… 加賀藩士・富田主計の邸地があったところなので、この名がついたという

2 下石引町（しもしびきまち）



- 復活日／平成 12 年 4 月 1 日
- 面積／3.2ha
- 復活前の町名／石引 3 丁目の一部

■由来… 藩政の初め、金沢城の石垣を築くため、戸室山から切り出した戸室石を引いて運んだ道筋であったので、この名がついたという

3 飛梅町（とびうめちょう）



- 復活日／平成 12 年 4 月 1 日
- 面積／5.2ha
- 復活前の町名／石引 3 丁目の一部

■由来… 前田対馬守長種にはじまる藩の老臣一万八千石・前田氏の下屋敷（家中町）があったところで、同家の家紋「角の内梅輪」にちなみ、明治2年この名がつけられた

4 木倉町（きぐらまち）



- 復活日／平成 15 年 8 月 1 日
- 面積／1.17ha
- 復活前の町名／片町 2 丁目の一部

■由来… 藩政の初めころ、藩の材木蔵があったので、この名がついた

5 柿木畠（かきのきばたけ）



- 復活日／平成 15 年 10 月 1 日
- 面積／2.36ha
- 復活前の町名／広坂 1 丁目の一部

■由来… この一帯を火除地とするため、藩士の邸宅を移転させ、空き地にし、柿の木を植えた。その後、再び藩士の邸宅となったが、地名として残った

6 六枚町（ろくまいまち）



- 復活日／平成 16 年 6 月 1 日
- 面積／0.5ha
- 復活前の町名／芳斉 2 丁目の一部

■由来… この町の宅地税である「地子銀」が年間6枚であったことから、この名がついたと伝えられている

旧町名復活の推進について

～金沢市のコミュニティ再生事業～

7 並木町（なみきまち）



- 復活日／平成 17 年 10 月 1 日
- 面積／2.5ha
- 復活前の町名／橋場町の一部

■由来… 藩政時代、浅野川の護岸のために川沿いに植えられた松並木にちなんで、この名がついた

8 袋町（ふくろまち）



- 復活日／平成 19 年 3 月 1 日
- 面積／1.64ha
- 復活前の町名／安江町および尾張町 2 丁目の各一部

■由来… 町筋である北国街道の両端が曲り、まるで袋のようであったところから、この名がついたという

9 南町（みなみちょう）



- 復活日／平成 20 年 11 月 1 日
- 面積／3.94ha
- 復活前の町名／香林坊 1 丁目・2 丁目、高岡町および尾山町の各一部

■由来… 藩政期以前に、金沢御堂の南側にあったことからこの名がついたという

10 下新町（しもしんちょう）



- 復活日／平成 21 年 11 月 1 日
- 面積／1.7ha
- 復活前の町名／尾張町 2 丁目の一部

■由来… 藩政初期からの町名で、尾張町に家屋が増え、町地が狭くなったので、新しく町立てされたため、新町の名がついた。明治4年、上・下の2町に分町した

11 上堤町（かみつみちよう）



- 復活日／平成 21 年 11 月 1 日
- 面積／1.74ha
- 復活前の町名／高岡町および尾山町の各一部

■由来… 藩政期以前にできた寺内町の一つで、掘り上げた土の堤上に町地ができたことから、この名前がついた。寛永12年の火災を機に金沢城西惣構堀の内側からこの地に移された

12 観音町1丁目（かんのんまちいちちようめ）



- 復活日／令和元年 5 月 1 日
- 面積／0.8ha
- 復活前の町名／東山 1 丁目の一部

13 観音町2丁目（かんのんまちにちようめ）



- 復活日／令和元年 5 月 1 日
- 面積／0.5ha
- 復活前の町名／東山 1 丁目の一部

14 観音町3丁目（かんのんまちさんちようめ）



- 復活日／令和元年 5 月 1 日
- 面積／2.4ha
- 復活前の町名／東山 1 丁目の一部

■由来… 元和2年（1616年）、観音院が卯辰山から移されたとき、観音院から浅野川大橋までの道を拡張し、この通りを観音町と称した

金石地区



15 金石通町 (かないわとおりまち)



- 復活日／平成 30 年 11 月 1 日
- 面積／1.5ha
- 復活前の町名／金石西 3 丁目および 4 丁目の各一部

■由来…江戸時代には上通町と下通町にわかれていて、大店もあり人の通りも多く賑わった町であった

16 金石下本町 (かないわしもほんまち)



- 復活日／平成 30 年 11 月 1 日
- 面積／1.5ha
- 復活前の町名／金石西 3 丁目および 4 丁目の各一部

■由来…本町の下に連なった町で店屋も多く賑わった町であった

17 金石味噌屋町 (かないわみそやちよう)



- 復活日／平成 30 年 11 月 1 日
- 面積／2.2ha
- 復活前の町名／金石西 2 丁目および 4 丁目の各一部

■由来…元禄時代に書かれた宮腰絵図に記されている由緒ある町名である

18 金石新町 (かないわしんちよう)



- 復活日／令和元年 11 月 1 日
- 面積／1.3ha
- 復活前の町名／金石西 2 丁目の一部

■由来…元禄時代に書かれた宮腰絵図に記されている由緒ある町名である

19 金石今町 (かないわいままち)



- 復活日／令和元年 11 月 1 日
- 面積／1.6ha
- 復活前の町名／金石西 2 丁目の一部

■由来…町名の由来はさだかではないが、古くより、海から上がられた佐那武の神様が通られたということで、夏祭りの時には家ごとに竹を飾り、当時の藪を再現する

20 金石海禅寺町 (かないわかいぜんじまち)



- 復活日／令和元年 11 月 1 日
- 面積／1.6ha
- 復活前の町名／金石西 1 丁目および 2 丁目の各一部

■由来…海禅寺という寺があったことからついた町名で、この寺がいつ頃に上越前町に移転したかはさだかではない

21 金石下寺町 (かないわしもでらまち)



- 復活日／令和 2 年 11 月 1 日
- 面積／1.2ha
- 復活前の町名／金石西 3 丁目の一部

■由来…江戸時代に寺院が多くあるということで、寺町と呼ばれていた。後に、上・下で離された

22 金石上浜町 (かないわかみはままち)



- 復活日／令和 2 年 11 月 1 日
- 面積／1.1ha
- 復活前の町名／金石西 4 丁目の一部

■由来…元禄時代に書かれた宮腰絵図に記されている由緒ある町名である

23 金石浜町 (かないわはままち)



- 復活日／令和 2 年 11 月 1 日
- 面積／0.8ha
- 復活前の町名／金石西 4 丁目の一部

■由来…元禄時代に書かれた宮腰絵図に記されている由緒ある町名である

24 金石松前町 (かないわまつまえまち)



- 復活日／令和 2 年 11 月 1 日
- 面積／1.7ha
- 復活前の町名／金石西 2 丁目および 4 丁目の各一部

■由来…北海道松前と船で商売をしていた人達が住んでいた町で後年になり古河町と合併された

25 金石御船町 (かないわおふねまち)



- 復活日／令和 2 年 11 月 1 日
- 面積／1.8ha
- 復活前の町名／金石北 1 丁目の一部

■由来…加賀藩の御船手足輕の住んでいた所からついた町名

26 金石上越前町 (かないわかみえちぜんまち)



- 復活日／令和 3 年 11 月 1 日
- 面積／1.3ha
- 復活前の町名／金石西 4 丁目、金石北 1 丁目及び 2 丁目の各一部

■由来…江戸時代に福井と取引をしていた人達が住んでいた。以前は越前町と呼ばれ、日本の地図を作った伊能忠敬もこの町に一泊しており、上越前町は出町と呼ばれていた

27 金石相生町 (かないわあいおいちよう)



- 復活日／令和 3 年 11 月 1 日
- 面積／2.2ha
- 復活前の町名／金石北 3 丁目の一部

■由来…慶応 2 年 (1866 年) 大野と宮腰とが合併したときにできた町で、芝居小屋、茶屋などが建ち、昭和に入ってから湊々園ができ、賑わった町であった